

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

平成27年
12月1日 NO. 107

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

目次	●平成27年度 第2回理事会	2
	●市町村老人クラブ連合会長研修会	2
	●平成27年度 新任単位クラブ会長研修会	3
	●健康づくり大学入学式	4
	●県老連社交ダンス大会	5
	●平成27年度 関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会	6
	●ワナゲ・マグダーツ普及講習会	7
	●女性リーダー一泊交流研修会に参加して	7
	●特集「新地域支援事業」について②	8・9
	●故・西田委員を偲んで	10・11
	●振り込め詐欺被害防止キャンペーン	12
	●さいたま市老連中央区ワナゲ・マグダーツ 普及研修会	14
	●川越市老連喜楽会 認知症の予防と支援講座	14
	●元気に活躍する会員さん紹介／編集後記	16



彩の国

平成二十七年年度 第二回理事会

平成二十七年九月十日(木)、彩の国すこやかプラザにおいて第二回理事会を開催しました。出席者は理事十九名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

・会長 高橋義一

◆第一号議案「平成二十八年年度県の予算編成に対する要望について」

左記の四項目を県に要望することと承認されました。

一 単位老人クラブに対する助成費の確保

二 市町村老人クラブ連合会に対する助成費の確保

三 県老連が行う健康づくり事業に対する補助金の確保

四 県老連事務局職員体制の充実と運営に対する支援

◆第二号議案「副会長の選定(補充)について」

左記の者が選定されました。

高野光長(鶴ヶ島市)

◆第三号議案「平成二十七年年度県老連会長表彰被表彰者等の選考について」

以前に受賞した候補者を除いて全員を表彰することに決定しました。

◆第四号議案「平成二十七年年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学

「県老連役員との懇談交流会」の参加について

左記の九名が参加することに決定しました。

高橋義一、柴崎美雄、竹内榮一、亀田本二、駒場玲子、玉水きみ子、後藤勉、新井正一郎、大久保留里子

◆第五号議案「評議員選定委員会委員の選任について」

左記の者が選任されました。

小林 英(評議員)

野口元固(監事)

落合一弘(事務局長)

都倉大介(埼玉県民生委員・児童委員協議会 常務理事・事務局長)

高橋憲治(埼玉県共同募金会 事務局長)

◆第六号議案「評議員選定委員会運営要領(案)について」

原案のとおり承認されました。

◆第七号議案「評議員候補者について」

原案のとおり承認されました。評議員候補者は左記の四名です。

浅見文男(吉川市)

増田功夫(上尾市)

石川みよ子(戸田市)

冨田富雄(秩父市)

◆第八号議案「友愛実践活動モデル事業実施要綱の一部改正について」

原案のとおり承認されました。

◆第九号議案「平成二十八年版皇室カレンダールの斡旋について」

本多観光を通して一本千円(税込)で斡旋することで承認されました。

市町村老人クラブ連合会会長研修会

平成二十七年七月二十二日(水)
彩の国すこやかプラザセミナーホール

午後一時、柴崎美雄副会長の開会のことばで開会。続いて、埼玉県歌の合唱。

高橋義一埼玉県老連会長のあいさつ

市町村老人クラブ連合会長の研修会の開催と広報誌の全員配布は私の公約。会員増強が求められる中で、この研修会の役割は大きい。次に県老連役員・市町村老連会長の自己紹介。

新地域支援事業等の説明

続いて県老連事務局の椎名久美子主査が説明を行う。

平成二十七年より介護保険制度のなかで、「要支援」に認定された高齢者への介護サービスは、市町村ごとに独自の「新地域支援事業」となる。老人クラブとして、これにかかわる「行動提案」をして行くことが必要であると。

会員章の普及促進の説明

次に亀田本二副会長が説明を行う。会員章を着けることで、老人クラブの会員の意識の高揚をはかり、会員増強に資している。更に会員章の普及は老人クラブの財政面も潤しているので、その普及に

努めて欲しい。

意見交換

さらに十四人より三十六分間意見交換が活発に行われる。

主なものは①老人クラブとしての「行動提案」は具体的に、老人クラブ会員の手で行えること②補助金の使用については、目的を明確にし、効果についても充分に考慮する、など。

竹内榮一副会長の閉会のことばで午後三時二分終了。

深谷市 小林 英



平成27年度

新任単位クラブ会長研修会



平成二十七年、新任単位クラブ会長研修会が八月二十六日午後一時より「彩の国すこやかプラザ・セミナーホール」にて県内各地の新任会長百九名及び健康づくり大学の学生四十九名が参加して開催されました。堀越理事から、

長から全国の老人クラブ同様、埼玉県の老人クラブも会員の減少傾向にあり、会員増強運動には各単位クラブも鋭意努力されているとは思いますが尚一層の努力をお願いする。そして長生きの秘訣は、「自分自身の健康管理を徹底することである」とのご挨拶がありました。続いて全国老人クラブ連合会河野敦子参事の「老人クラブの現状と課題」について講演がなされました。

講演内容の概略は次のとおり
一、老人クラブのはじまり

老人クラブの起源は長寿を尊び祝う平安時代の「尚齒会」。念仏講等の仏教伝来とともに日本に伝わったとされる相互扶助組織「講」が源流とされる。

埼玉県でも昭和二十七年四月小鹿野町に高齢者自身の為のクラブ「長若としよる俱樂部」がつくられている。

二、老人クラブの現状

会員数で見ると平成二十六年、全国で六百二十七



万人、前年比二十二万人の減、埼玉では十八万七千人、六千三百人の減、単位クラブも五十三クラブが減少している。

三、老人クラブとしての行動提案

二〇二五年には団塊世代が七十歳以上になり高齢化率が三十パーセントを超え高齢者世帯、介護や支援を必要とする人たちが増加する為「地域包括ケアシステムの構築」が急がれる。

三つの会員増強運動

- 1 勧誘から始めよう
会員一人一人が勧誘の担い手
- 2 クラブを宣伝しよう（会報の作成）
知られていきますか、あなたのクラブ
- 3 クラブをつくらう

全ての地域にクラブの設置を

四、よりよいクラブ活動のために

- 1 「老人クラブ活動日誌」の活用
- 2 「老人クラブ会計簿」の活用
- 3 「老人クラブの三つの保険」の活用

講師は各老人クラブの地道な活動が会員増強につながる、と締めくくられました。

最後に竹内県老連副会長から「配布資料を熟読活用し後継者の育成に努めてほしい。会員減少に歯止めをかけ老人クラブを盛りたて今後の活躍を期待する」と総括があり有意義な研修会は午後三時閉会となりました。

川口市 星野 栄司

平成二十七年

健康づくり大学入学式

平成二十七年七月二十九日

(水) 午前十一時より、入学者五十四名を迎えて、彩の国すこやかプラザセミナーホールで行われた。

竹内榮一県老連副会長の開会のことば、入学生の金子千志氏(川口市)より決意表明、続いて高橋義一健康づくり大学学長(県老連会長)の歓迎と激励のことばがあり、斎藤十朗全老連会長、田島浩埼玉県福祉部長からの祝電及び県老連の役員の紹介。入学者代表夏目武二氏(川口市)の力強い誓い



のことばがあった。

落合県老連事務局長の閉会のことばで、入学式は終了。

式後、県老連役員と入学生の記念撮影。落合県老連事務局長より今後の日程や教育課程の説明があった。また、学生のグループが編成され、学生委員長に星野栄司氏(川口市)が選出された。

午後一時からは、第一回の講義として、高橋学長(埼玉県健康管



平成27年度 埼玉県老人クラブ健康づくり大学学生名簿

No.	氏名	市町村名	No.	氏名	市町村名
1	石川 悦子	川越市	28	黒須 陸男	川口市
2	福王寺ゆき枝	川口市	29	福田 茂	川口市
3	星野 栄司	川口市	30	土居 忠夫	さいたま市
4	田村美江子	川口市	31	館野 博昭	さいたま市
5	藤生 順子	川口市	32	溝口美千子	さいたま市
6	皆野川友孝	川口市	33	奥田 由江	さいたま市
7	星川 清人	川口市	34	横尾 十八	さいたま市
8	小松 博美	川口市	35	横尾かね子	さいたま市
9	夏目 武二	川口市	36	小山 久夫	加須市
10	成迫 美徳	川口市	37	田口富美子	春日部市
11	五十嵐富美江	川口市	38	金原 米文	春日部市
12	浪江 延子	川口市	39	星野 年男	春日部市
13	松村 玲子	川口市	40	淡田 峰夫	越谷市
14	大澤 悦子	川口市	41	柿本憲一郎	上尾市
15	鈴木 節子	川口市	42	渡邊 清香	上尾市
16	吉田ヨネ子	川口市	43	佐藤 佐	北本市
17	紺野 洋子	川口市	44	岩田 勲夫	北本市
18	金子 千志	川口市	45	岩田たか子	北本市
19	米良 貞夫	川口市	46	菅野 実	三郷市
20	稲垣八重子	川口市	47	仲鉢 紀子	蓮田市
21	土屋 泰章	川口市	48	北木 靖	蓮田市
22	鈴木日出男	川口市	49	西久保静江	蓮田市
23	福嶋 英子	川口市	50	古谷 みつ	吉川市
24	斎藤 仁造	川口市	51	古谷 長子	吉川市
25	嶋崎 春男	川口市	52	岡 美智子	白岡市
26	植野 寿子	川口市	53	山口規世子	白岡市
27	濱田 茂夫	川口市	54	大野 政子	杉戸町

体の部位(目、歯、耳、鼻、骨)の健康維持等についての「健康よもやま話」を二時間話され、午後三時、第一日は終了した。

◎高橋学長あいさつ(要旨)

高齢者の教養としての学習機会は各地で設けられておりますが、老人クラブの活動及び健康づくりについて専門的に学ぶ大学はここだけあります。

卒業後は、老人クラブのリーダーとして、健康づくりのリーダーとして、会員を元気にさせ、誇りを持ってクラブ活動の活性化

◎金子千志入学決意発表(要旨)

本年度入学生が高橋学長のもとで学べることに感謝、暑さに負けず、力いっぱいがんばります。

化のため、渾身の力をふるって、活躍していただきたい。

◎夏目武二入学生代表者の誓いのことば(要旨)

埼玉県の高齢者人口二十%を超えて高齢時代が到来、私たちは健康で生きがいを持ち、社会に貢献することを誓います。

川越市 小林松十郎



平成二十七年年度埼玉県老人クラブ連合会、社交ダンス大会が九月十六日（水）春日部市庄和体育館において開催された。
主催者挨拶として県老連高橋会長が、歓迎の挨拶として、春日部市いきいきクラブ連合会成田会長が、引き続き、来賓の挨拶として春日部市福祉部の隅田課長、全国老人クラブ連合会健康づくり推進

平成二十七年年度

県老連社交ダンス大会



員の田中先生よりお言葉があり、続く役員の紹介をもって開会式が終了した。
プロダンサー高橋祐貴、的場永実によるデモンストレーション四曲が踊られ、そのすばらしい演技に全員が見とれていた。
ダンスタイムの時間になると出席の方々が広い会場を自由に踊りだし、多くの方がフォーメーション

の準備のためか真剣に取り組んでおられた。年をとってもすばらしく踊れることは趣味と健康を両立させ本当に幸せな方々だとつくづく感じた。

最後のフォーメーション演技に入り、七つのチームが日頃の練習の成果をいかに発揮すべく競技が開始された。メンバーの多いチーム、又少いチームと様々ではあるが、各チーム共すばらしい演技を披露し、本当に甲乙つけがたい程であった。

演技後高橋、的場両プロによる的確な講評が行われ、最後に春日部市いきいきクラブ連合会久保谷副会長より参加者の皆様に対する感謝と来年も又より多くのチームが参加されることを希望しますと閉会の辞が述べられた。
松伏町 副島秀夫

賞	チーム名
第1位 埼玉県老人クラブ連合会会長賞	さいたま市西区ポピーダンスクラブ
第2位 春日部市いきいきクラブ連合会会長賞	吉川市長寿会社交ダンスサークル
第3位 審査員特別賞	和光市生きいきクラブ
グッドルーティン賞 (音楽、構成が素晴らしかったチーム)	吉川市長寿会社交ダンス教室
ビューティフルライン賞 (ラインが良くそろっていたチーム)	春日部市いきいきクラブスマイリング・フェイス
ベストドレッサー賞 (衣装、ヘアメイクが美しかったチーム)	さいたま市岩槻区福寿クラブ
チームワーク賞 (チームワークが良く踊れたチーム)	所沢市長生クラブ

平成27年度

関東甲信越静ブロック 老人クラブリーダー研修会

開催県…埼玉 県

平成二十七年、関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会”。以下関ブと略す。さい

たま新都心、「ホテルプリランテ武蔵野」に於て、七月十六、十七の両日当該地域より一八〇名超のクラブリーダーの参加をえて、盛大に開催された。本県は主催当番県として高橋義一県老連会長を始



め、役員、事務局職員を含め全員が、おもてなしに汗を流した。

初日は開会式の関ブ連絡協議会増田時枝会長、本県老連高橋義一会長の挨拶、上田清司本県知事祝辞（代読）に続き研修会開始、全老連齊藤秀樹常務理事による基調報告「老人クラブとしての運動、行動提案」をテーマに(イ)高齢者人口、(ロ)世帯状況、(ハ)認知症高齢者、(ニ)要介護認定等の諸指定。悪質商法被害防止、新地域支援事業を始めとする行政との諸連携、クラブ活動推進の基本方針等が具体的に示された。次いでパネルディスカッションに移り、三名のパネラーは共に「会員増強運動」をメインテーマとして先ず横浜市松沢秀夫副会長からは友愛活動を通じての会員増強策、次いで浦安市宮坂照代女性部会長は女性パワーと独特の視点を活用した会員増強策が示され、川口市鯨井寛正会長から

は、地域活動を通し、常に高齢者の目線を重要視した会員増強策が提案された。これらに対しコーディネーターの木原孝久先生より、「友愛活動は無理せず継続を、女性パワーを活かすこと、高齢者の目線では共助を大切にすべき等」の助言が示された。

次いで夕刻より、同ホテル内エメラルドに於て、懇親会が華やかに開催された。本県老連竹内榮一副会長による歓迎の挨拶。乾杯発声でスタート。宴席はタレントの小桜京子と歌手氷川きよしの村上みつぐのアトラクションで会場を沸かせた。

二日目は平成二十七年関ブ会長表彰式で始まる。本年は四十七名が表彰され、本県より成田準之助氏、堀越一三氏、西田禮三氏、野口元固氏の各理事・監事の四名が受彰し、成田準之助理事が代表で授与された。

全老連健康づくり推進員の田中道子先生によるいきいきクラブ体操でリフレッシュした。文京学院大学中島修准教授による「介護保険法改正の動向」等に関する講演を拝聴。高齢者に関連の深いテーマとして得るところ大であった。



フィナーレは、次回開催県、栃木県老連黒田盛男会長から「日光見ずして結構というなかれ」と日光市開催の挨拶。本県老連高橋義一会長の御礼と閉会挨拶で「彩の国」関ブは盛会の中、終了。私はこの二日間を通し、埼玉県には著名な名所、旧跡、産業展示施設、名産品等が随所に有するものの、いわゆる観光県と異なる為、イベントにはやや難点を感じていたが、創意工夫で行事実施は可能であると今回の研修会が成功証明でその考えを払拭した。

さいたま市 竹内 榮一

ワナゲ・マグダーツ普及講習会

初夏のひと時、県老連ではワナゲ・マグダーツ普及講習会が、七月一日、すこやかプラザセミナーホールに総勢七二名が、参加され、午後一時より開催された。多くの参加者で、会場の雰囲気は、大変盛り上がった。

ワナゲはNPO法人フレンドリー情報センター西尾和久先生の下、また、マグダーツは狭山市の長谷部源一先生による力強い合図のもとスタートした。

参加者はチームに分かれ、ワナゲ・マグダーツ、それぞれの講習を行った。両競技とも好成績をあげながら、ふと緊張の和が解け、いつの間にか笑顔と応援の歓声が伝わってきた。

それにしても、ワナゲもマグダーツも正確な態勢と僅かなフォー



ムの差によって変化するようで、その繊細さは微妙なものである。運動はフォームと集中力が必要で、日頃から自分の安定した態勢を培うことが何より大切であると実感した。

そうした中でも、応援のかけ声にこたえるかのように笑顔を投げかけていた方もおり、時には楽しくゲームを進めているのだなど、ほっとした一幕もあった。多くの方々が、お互いに競い合い、時には心豊かに競技に励んでいる姿が、スポーツの醍醐味だと実感したひと時でもあった。

そして競技終了後、各リーダーの研修が様々な角度から真剣に行われた。

北本市 佐田 一郎

女性リーダー 一泊交流研修会に参加して

平成二十七年一泊交流研修会を九月三日、四日に行いました。川口駅・さいたま新都心・坂戸駅に寄り一行四十三名、一路バスに揺られ群馬県へと進めて参りました。

群馬県社会福祉センターにて群馬県老連女性委員長長川端幸枝様のお出迎えを受け、会場へ向かい、六グループに分かれ群馬県女性委員が加り、開式の後埼玉県老連事務局主席椎名久美子氏より本日のテーマ「百万人会員増強運動について」説明を受けて各グループごと進行・記録・発表係りを決めそれぞれ活発な意見交換が出来ました。



新会員を募るには趣味のカラオケ、グラウンド・ゴルフ、民舞、手芸、料理等に参加していただきその後、入会頂く事が良いのではないかというご意見が多く聞かれました。

地元自治会長

越谷市 清水 絹代

の協力で若手の加入が有り、次世代に繋げて行く事が出来たという発表も有り、友愛活動、一人暮らしの手伝い等、私たち女性の優しさや気配りを生かして、会員増強に力を発揮して行く事を誓い、最後に埼玉県老連常務理事兼事務局長の落合一弘氏の総評が有り閉会となりました。群馬県女性委員の皆様から、さすが全老連女性委員長駒場玲子さんのいる埼玉県ですね。見習う所が沢山有りましたと言葉を頂きお別れ致しました。

今宵の宿、伊香保温泉ホテル小暮は、北関東最大級の湯殿を持ち、とても良い宿でした。夜の宴席も各地区の素晴らしい余興で盛り上がり、団結力が出来、今後の女性委員会の絆が出来ました。

二日目は「世界遺産」富岡製糸場の見学、外国人の手によって日本近代化の幕開けとなった当時の様子を音声によりガイドさんの事細かな説明を受けました。途中休憩を取り、一路埼玉県へと帰途に着きました。

意義ある研修旅行に参加出来た事、関係各位に感謝申し上げます。

総力を結集して、埼玉3万人

「新地域支援

～この事業に向けて

107号
特集

老人クラブ・高齢者が 介護予防・生活支援の担い手に

介護保険制度のなかで「要支援」に認定された高齢者への介護サービスは、市町村ごとに独自の「新地域支援事業」として実施されることになりました（平成27年4月から3年の間移行）。埼玉県老人クラブ連合会でも、平成27年度の「基本方針」として独自の新地域支援事業に取り組み対応していくことを打ち出しています。老人クラブがこれまで取り組んできた友愛活動には地域差がありますが、健康づくり・介護予防は、ほとんどの老連、老人クラブで実施されています。

これらの経験を活かし、市町村における新地域支援事業の協議の場に参画して、老人クラブでできる範囲の介護予防・生活支援の活動を、地域の関係機関・団体と共に担うことを一緒に考え、協働していこうではありませんか。



市町村老連は、速やかに市町村行政の対応計画を把握し、首長や担当者に老人クラブの事業（活動）について説明し、新地域支援事業との関連を再認識しましょう。

地域の方々と共に要支援高齢者の介護・生活を支えよう!

会員増強を達成しましょう!

「事業」について ②

の行動提案～

老人クラブの事業（活動）が新地域支援事業として認められるよう、市町村に積極的に働きかけましょう。

老人クラブでは地域の支援を必要とする会員・高齢者を対象に、声掛け・安否確認、話し相手、ごみ出し、外出支援等の友愛活動に取り組んできています。

この経験を活かし、新地域支援事業の理念の共有に努め、介護予防・生活支援サービスの担い手として、行政や住民、関係者と協働した活動を進めましょう。

■介護予防・生活支援サービスの具体的な事例

多様な通いの場

- 交流サロン・喫茶室 ●趣味サークル ●健康教室 ●体力測定 ●介護予防教室 等

多様な生活支援

- 声掛け ●安否確認（電話訪問） ●見守り ●話し相手 ●お知らせ届け等情報提供
- 高齢者詐欺被害防止 ●防火・防犯・防災や災害避難協力
- 付添い（通院・買物・サロンやクラブ活動場所への同行）
- 軽作業（電球・電池・水道パッキン等交換、重量物や高所物の移動、障子張替え、雑草刈り、植木剪定、簡単な家の補修 等）
- 家事手伝い（掃除、窓拭き、草むしり、ごみ出し等） ●買い物や諸手続代行
- 配食 ●移送サービス 等

新地域支援事業に取り組むことで老人クラブ活動が一層活性化され会員増強に弾みをつけましょう。

公的な介護保険制度に加えて、住民参加型の生活支援サービスが、地域ごとの実情に応じて拡大することにより、高齢者だけでなく子どもや障害のある全ての世代にとって「福祉のまちづくり」につながります。「健康・友愛・奉仕」を基本に、地域で支え合いの活動を行ってきた老人クラブが、支援の幅を広げることは「3万人会員増強運動」の大きな力になるでしょう。



故・西田禮三委員を偲んで

限りない功績

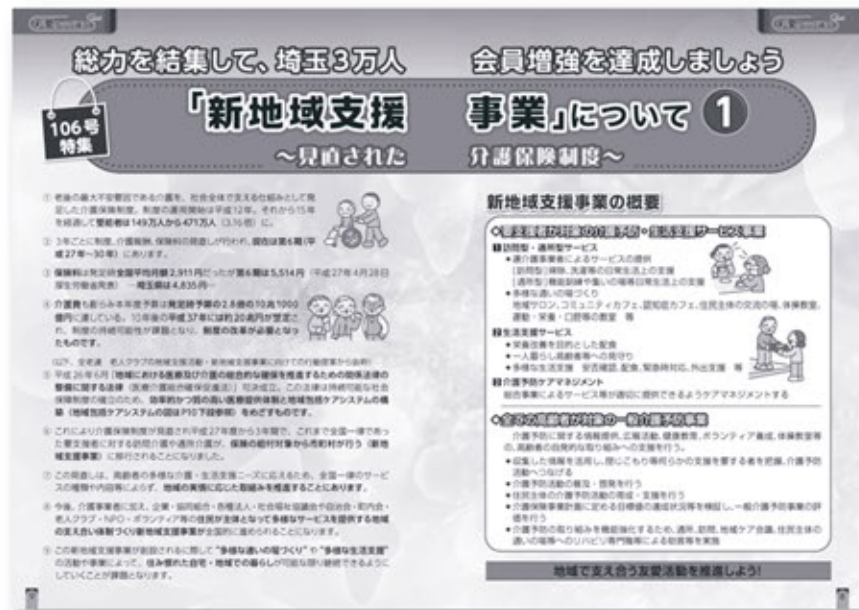
に感謝して

県老連広報誌に輝かしい歴史を築き、惜しまれながら平成 27 年心から哀悼の意を込め、「広報を愛し、広報は生きがいだ!」という、の数々を追悼特集いたしました。……………西田禮三氏の

8月16日(日)、87歳で逝去された西田禮三広報委員に、その手から生み出された素晴らしい作品ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



「彩愛クラブ埼玉」100号発行にあたっては、本会の愛称を公募し、「県老連だより」から「彩愛クラブ埼玉」という新たな広報誌の発刊にご努力をいただいた。



平成21年から特集ページ(広報誌の8~9ページ)担当として活躍された。



平成27年1月1日発行の「彩愛クラブ特別号」(全会員配布号)においては、表紙の写真赤富士を提供いただき、特別号の合言葉を決めていただいた。

「彩愛クラブ埼玉は、彩の国埼玉を愛する仲間が集い、生きがいくくり・健康づくり・仲間づくり・地域づくりを実践して、彩り豊かな、いきいきとしたよこごの輪を広げています。」



“健康・友愛・奉仕”この10年では、題字は西田委員の揮毫によるもので、150ページの原稿を担当され編集にご尽力いただいた。

昭和を歩んだ旧友

県老連会長 高橋 義一

昭和ひと桁前半に生まれた私や西田委員にとって日本の歩んだ道そのものが人生でした。旧友の逝去を心より悼みます。

今も光る筆文字

県老連常務理事兼事務局長 落合 一弘

温かい激励、訴える力、活動の心構えを文字に込めて、見事な広報誌を作ってくださいました。

西田委員の精神を胸に刻み、日々の仕事に精進して参ります。本当にありがとうございました。

編集の先駆け

県老連広報委員長 成田準之助

広報の原稿を書くのが「生きがい」だと言われた故西田委員が懐しく偲ばれる。

心やすらかに

県老連広報副委員長 五十嵐博一

8月11日東京都大山の病院に、お見舞に行った時、成田委員長とお元気な声で、謡曲「羽衣」を謡っていたのに……

~秋桜が優しくゆれて~

北山隆司・小林松十郎

ご冥福を心からお祈りいたします

優しい笑顔が

県老連事務局主査 椎名久美子

人間味あふれる、西田委員の作成した原稿に出会えなくなるのは残念ですが、特集や50周年誌等はいつまでも私たちの間で生き続けます。西田委員のファンの一ひとりとして心より感謝と御礼を申し上げます。

あの一言を回顧

県老連広報委員 小林 英

「昭和の天皇の即位 大禮のあった1928年生まれなので「禮三」というお名前…」

その言葉から人柄と時代を感じました。合掌

夢を追いかけて

県老連広報委員 副島 秀夫

広報誌の文章のすばらしさ、又賀状の毛筆のすばらしさ。50周年記念の揮毫もお願いしたら心よく引受けていただいた。常に物事を前向きに考え夢を追いかけておられた西田さん。合掌

思い出すまに

県老連広報委員 佐田 一郎

ある日、編集会議が終わり、ほっと一息をしていると、紙きれをくれた。電車の中でふとみると私の書いた文章に一字誤字何気ない好意に、感謝感激も心に残る思い出。

振り込め詐欺 被害防止 キャンペーン



平成二十七年八月末現在、県内の振り込め詐欺被害は、認知件数七三一件、被害金額一九億七、六五二万円と、昨年同様に多発傾向にあり、深刻な状況にあります。

県警察では、振り込め詐欺被害を一件でも多く防止するため、去る九月十二日（土）、越谷市内のイオンレイクタウンkazeにおいて、越谷市老人クラブ連合会会長の清田様、越谷市老人クラブ連合会女性委員会委員長の清水様を来賓にお迎えし、「振り込め詐欺被害防止キャンペーン」を実施いたしました。

キャンペーンでは、越谷市老人クラブ連合会会員の方々にも多数のご参加をいただき、埼玉県警察本部生活安全企画課員による防犯指導、「振り込め詐欺だまされま川柳」お買い物競走、啓発品の配布や防犯機器の展示を行い、注意喚起を図ったところであり、特に、お買い物競争では、清水委

員長が飛び込みで御参加してください、会場は、振り込め詐欺を防止しよう、という気運で盛り上がりました。

振り込め詐欺の傾向として、息子や孫をかたるオレオレ詐欺が約七割を占めておりますが、最近では、市町村役場の職員をかたる還付金名目の手口も増えていきます。被害に遭わないために警察による防犯指導を御活用していただき、犯人からの電話を受けても騙されない抵抗力を身に付けていただきたいと思っております。

県警察では、今後とも振り込め詐欺の被害防止に向けて各種対策を推進してまいりますとともに、老人クラブ連合会の皆様と連携を強化し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりの推進に努めてまいりますので、今後とも変わらぬ御協力をお願い致します。

埼玉県警察本部



大好評! 埼玉県老人クラブ連合会指定旅館!

※平日に限りです

ポイント

- ・15名様以上送迎付宿泊プラン!
- ・傷害保険(死亡時1000万円)付!
- ・宴会時2人に1本の割合でビール付!
- ・宴会は完全個室宴会場にて!
- ・宴会時カラオケサービス!
- ・宴会時、全員にお酒又はジュース1本付!
- ・観光を取り入れたオリジナルコースを無料作成!

県	地名	ホテル名	1泊2食(税込)	
			1~3月	4~9月
長野	戸倉上山田	ホテル雄山	8,650円	8,650円
長野	斑尾花が入	パートンホテル		11,150円
栃木	乃木	乃木温泉ホテル	11,800円	11,800円

※その他指定旅館以外のホテルも多数ございます! ※10名様から送迎可能なホテルもございます!

詳しくは、お問い合わせ下さい。資料をお送り致します。

全国旅行業協会(ANTA)会員・栃木県知事登録旅行業第3-695号

個人宿泊から
団体旅行まで
予約・手配・コース作成は

株式会社 旅らんど

〒320-0822 栃木県宇都宮市河原町7-5 フェニックス瑞雲508号室

028-688-8322 FAX 028-688-8323

総合旅行業務取扱管理者/金子 慎

営業時間 AM9:00 ~ PM5:30 (定休日:土・日・祝日)

お電話1本で!

【企画実施】 楽旅クラブ 茨城県知事登録旅行業2-618号
茨城県筑西市幸町3-15-11

アクティブシニアボランティア募集!!

老人クラブ「彩愛クラブ埼玉」の皆様へ!!

友愛活動の一環として、介護施設でのボランティア活動をお願いできませんか？
皆様のお力を必要としています！



① 娯楽ボランティア

日頃、シニアクラブで練習なさっている合唱、ダンス、踊りを弊社の介護施設で披露していただけますか？ ご利用者様やご入居者様がきっと喜ばれます。ぜひ、お力をお貸しください！

② 軽作業ボランティア

弊社介護施設で、お掃除や草取り、お洗濯のお手伝いをしていただけますか？
ぜひ、お力をお貸しください！

詳細については下記までお問い合わせください



Welfare Information Service Network
株式会社 ウイズネット

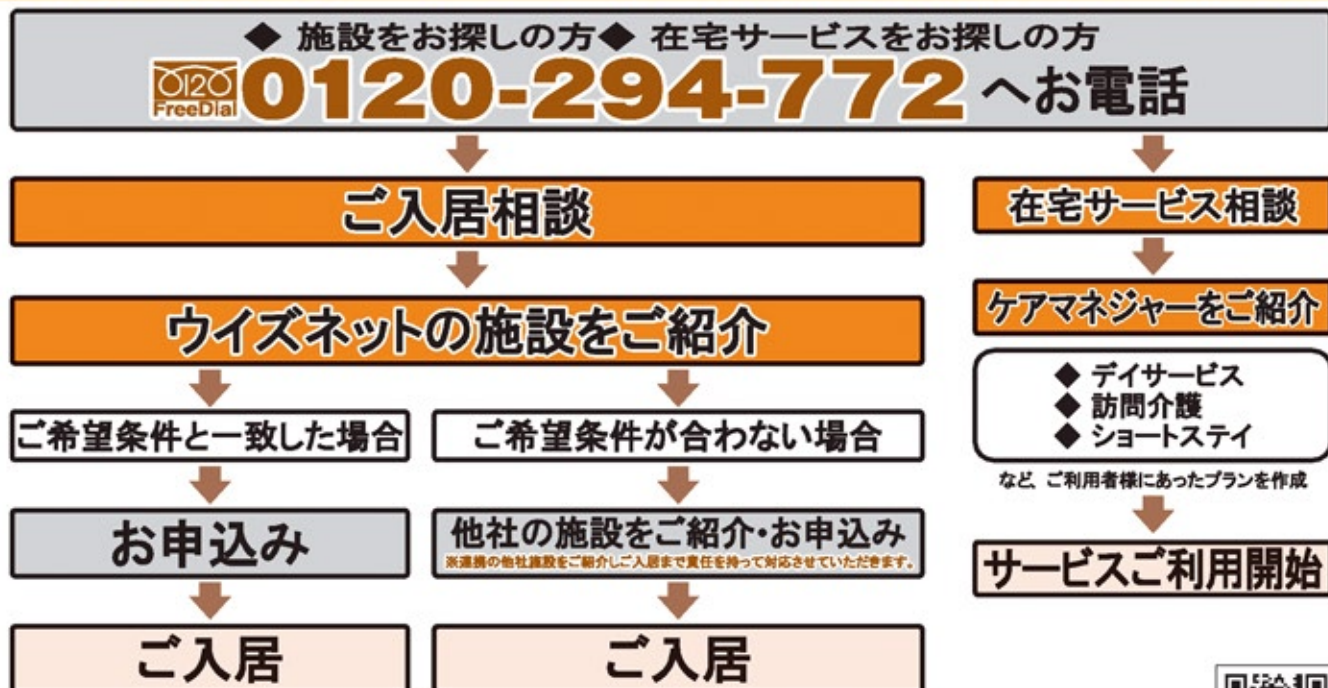


0120-294-772

TEL. 080-5934-6547 金子 誠 080-9878-4850 石井幸子

～介護について一括サポートします～

介護安心ダイヤルのご案内 〈介護安心ダイヤルご利用の流れ〉



まずはお電話にてご相談ください



Welfare Information Service Network
株式会社 ウイズネット



さいたま市老連中央区

ワナゲ・マグダーツ普及研修会

「ワナゲ・マグダーツ普及研修会」に、さいたま市中央区から地元でもあり今後の活動にと、第一・第二峰寿会から各十四名と大勢で参加。これは良いと感動、早速用具を手配して実施を始める。

室内活動は「上峰デイサービスセンター研修室」を利用している。グラウンド・ゴルフ（以下G・G）で体を動かしているが、室内では初めての運動、フォームと集中力が必要で遊び半分では良い結果は出ない。真剣にやらねばならない。日頃、運動量が少ない高齢者には良いスポーツである。点数は正式でなく、簡単な方法で、この方が皆が楽しく出来るようだ。

G・Gの出来なくなった人でもこれらは出来る。楽しんだ後のお



茶会は和やかに……昔の遊びも懐かしみ、新しいゲームもと、あまり老け込まないように頑張らず、自然に歩んで行くことが出来る。

さいたま市 五十嵐博一

川越市老連喜楽会 認知症の予防と支援講座

川越市老連喜楽会による「認知症の予防対策講座」が、九月十日午後一時〜三時迄、川越市岸町一丁目自治会館にて実施された。



講師は「川越市地域包括支援センター小仙波」の職員および、キヤラパンメイトの五名。受講生は、認知症予防に特に関心を持っている老人会の会員約三十名。

初めに、喜楽会会長の私が開会の挨拶。続いて「地域包括支援センター小仙波」職員の社会福祉士渡邊伸枝氏より、映像を活用した説明があった。

一 認知症って？

認知症は、脳の病気。単なる物忘れとは異なります。人は加齢により、からだ（体力）あたま（認知能力）が衰えます。

脳に起きた何らかの傷害により、いったん発達した知的機能（記憶する、時・場所・人等を認識する。計算する等）が持続出来ず社会生

活に支障を来す状態。

二 認知症の予防は？

①頭を使うこと（発病や進行を遅らせることができる。脳内の神経ネットワークを強化することが出来る）

②血流を促すこと（脳の生理的状態を良くすると、脳の老化防止や、老人斑沈着を防止・改善することが出来ます。）

三 認知症予防に効果的な運動は？

①ウォーキング（早歩き）を大きめの歩幅で行い一日七千歩を歩くと、なる危険度は約半分に減ります。

四 認知症の予防にきく食べ物？

①野菜・果物（ビタミンC・E・βカロテン）
②魚（DHA・EPA）
③ワイン・カレー・ゴマ・緑茶等（ポリフェノール）

次に、認知症の人を地域で支える為、「認知症の人に接する時の心構えと、対応の仕方」について、キヤラパンメイトの入江さゆり氏と木村房江氏による講演があった。「認知症の人への対応の心得」

- ①驚かせない。
- ②急がせない。
- ③自尊心を傷つけない。

川越市 小林松十郎

老人クラブ会員の皆さまへ

ケガの 老人クラブ傷害保険のご案内

平成25年10月1日改定

〈平成25年9月1日以降のお申込みから適用〉

総合型 〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉

年間掛金	3,500円		5,000円		10,000円	
ケガをした時の状況	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型
補償内容	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	45万円	91万円	85万円	109万円	170万円	217万円
	136万円		194万円		387万円	
後遺障害保険金 (注1)	45万円	—	85万円	—	170万円	—
	45万円		85万円		170万円	
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	750円	2,000円	950円	4,000円	1,900円
	1,750円		2,950円		5,900円	
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円	1,300円	700円	2,600円	1,400円
	1,150円		2,000円		4,000円	

クラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の補償額が支払われます。

クラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの補償額が支払われます。

※「総合型」の掛金・補償額は、職種別A(無職、事務職等)の方を対象にしたものです。職種別B(農林業業者等)の方は、補償額が変更になりますので、詳細につきましては、取扱代理店もしくは引受保険会社までお問い合わせください。

クラブ活動型 〈クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。〉

年間掛金	500円		1,000円		2,000円	
ケガをした時の状況	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型	クラブ活動型	24時間型
補償内容	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	45万円	補償なし	85万円	補償なし	170万円	補償なし
後遺障害保険金 (注1)	45万円		85万円		170万円	
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	1,000円		2,000円		4,000円	
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円		1,300円		2,600円	

クラブ活動中のケガの場合は、**白地** のみの補償額が支払われます。クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)

※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。

※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8769
FAX番号 03-3597-8767

03-3597-8770

受付時間 9:30~17:20
(土、日、祝祭日、年末年始休)

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社
(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日改定)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ld.com/>)でもご確認ください。

13-1-03/82 平成26年4月作成

元気に活躍する 会員さん紹介



川越市老人クラブ連合会会長

原伸次氏



川越市の原伸次さんは、昭和三年八月十四日生まれの八十七歳。

生まれは、川越市府川。学業は戦時中のため、勤労奉仕と軍事訓練も教育されたそうです。

卒業後は「これからの時代（終戦後）は、学歴では無く手に職を付けろ」との、親父さんの方針で、昭和二十年に自転車業界に奉公。そして九年后、所在地（川越市宮元町）に「原自転車商会」を設立。現在も夫婦二人三脚で、経営に勤しんでいます。

町内会との関わりは、昭和四十二年より十七年間も自治会長。また、原さんが自治会長の時に、地区の老人会が解散。再結成に尽力し、自身が会長に就任。四十一年以上務めています。

市老連との関わりは、支部長に就任後、文化部に二十年間所属。副会長を十年以上。会長には平成

二十三年十一月に前会長の死去に伴い就任。昨年度より県老連の評議員を拝命しています。

他の活動では、埼玉県寄居町にある「療護施設療育園・障害者支援施設（山鳩よりい）」の保護者会の会長を三十三年間と、川越市の交通安全協会と推進委員を約四十年間継続。昨年、全国交通安全協会より「川越市老連」が表彰を授与される基礎をつくりました。

原さんが、こんなに元気で、いつまでも活動できるのは、影で支えている奥様の「内助の功」が大きいと感じました。

川越市 小林松十郎

北本市老人クラブ連合会 本町ふるさと会

大嶋曹司氏

如何なるときにも
落着きと気配りを



語らずとも、その実力は独り歩きをするものと、世間ではよくいわれますが、

北本市コミュニティ・センターを訪ねると、何とも語り難い雰囲気。真剣ってこうゆうものなんだと、改めて実感いたしました。

大嶋さんは、永年にわたり培われた経験を基礎に、囲碁クラブのまとめ役。そして当クラブにおきましても、男性のなかでは最高齢でございますが、久しく月日を築きあげた落着きと、冷静さが、すべてを醸し出してあります。

常にそのような、お姿を敬いながら、時にはそうした存在から越脱して気が付けば、甘えてしまう日々もあり、はつと心する時すらあります。そうした優しく思いやりのある大先輩なのであります。

恒例のふるさと会の、年度末総会におきましては、申しわけないと心しながらも議長をお願い致しまして、その手なれた議事運営のスムーズさに、感謝の念と同時にその敏感さに敬意と同時に驚きを感じております。常日頃でございます。

大嶋さんは、その昔、農水省に永年にわたり席をおきながら、日本各地を転任し、さまざまな角度からの、土地改良事業の事業計画にお力を尽くしてこられた方で、とき数える事平成十一年四月十九日の園遊会には目出たくも、ご招待なされまして、その栄誉を称えられました。

周知のごとく、これから、ますます高齢化が進みゆくなか、北本市も普く健康年齢増強運動と同時に、時にこの老人会および老連の繁栄のために、ここからお力と、

ご意見を頂きながら、楽しい日々を一度に願っているひとりでございます。

北本市 佐田 一郎

編集後記

「彩愛クラブ埼玉」も一〇七号と二年が経過し八号目となる。

表紙も一新、中味もと、特集では特にご努力賜っていた西田委員がご逝去され、非常に残念でなりません。

十、十一ページでは「故西田禮三委員を偲んで」の特集を組みました。二人の委員が誕生しましたが二人減少で、人数的には変わらず、若い力でカバーして戴けると思っています。

戦後七十年、戦争の被害は回復し、国内での被害は自然との「タタカイ」となる。

五年後のオリンピック、パラリンピックでは「国立競技場」と大きな問題を残してしまつた。安倍首相の第三の矢「経済」早く回復させねばこれ等が解決されないと思う。

我々高齢者も五年後、十年後がどうなるか、クラブ活動を活発にし、会員増強を行って、明るく、元気に楽しく送りましょう。（頑張らずに……）
五十嵐博一

「彩愛クラブ埼玉」の発行には、共同募金の配分を受けています。

